

令和6年度 印西市家庭教育学級だより

かてきょう通信 10月号

「子育ては自分育て」 ～笑顔の子育てのために～

～行事の中で子どもは育つ～

猛暑が過ぎ去り、朝晩も少しずつ過ごしやすくなってきました。運動や学習、趣味など、様々な活動に集中できる季節がやっと訪れました。

お子さんの通う園や学校でも、この季節にいろいろな行事が計画されていることと思います。新しいことを学んだり、いろいろな友だちと関わったりする活動には、楽しいことも、つらいこともあるでしょう。しかし、いろいろな経験をすることで、子どもたちは成長していきます。その中で、子どもたちが持てる力を発揮し、一步一步、成長していけるよう、お子さんをあたたかく見守っていきましょう。



今回は、『子どもを伸ばす魔法の11か条』(加藤諦三 著)から、「アメリカインディアンの教え」をご紹介します。

1. 批判ばかり受けて育った子は、人を非難ばかりします。
2. 敵意にみちた中で育った子は、誰とでも戦います。
3. ひやかしを受けて育った子は、はにかみ屋になります。
4. ねたみを受けて育った子は、いつも悪いことをしているような気もちになります。
5. 心が寛大な人の中で育った子は、がまん強くなります。
6. はげましを受けて育った子は、自信を持ちます。
7. ほめられて育った子は、いつも感謝することを知ります。
8. 公明正大な中で育った子は、正義感を持ちます。
9. 思いやりのある中で育った子は、信仰心を持ちます。
10. 他人に認めてもらえる中で育った子は、自分を大事にします。
11. 仲間の愛の中で育った子は、世界に愛を見つけます。

子どもを伸ばす魔法の言葉は、子育てのポイントであると同時に、自分自身を振り返り、親自身が成長する魔法の言葉でもあるのです。

子育てには、いろいろな悩みや苦労がつきものです。参考にしてみてください。

◇お問い合わせ◇

印西市教育委員会 教育部生涯学習課 推進係(担当 平山・海老原)

【電話】 0476-33-4713

【FAX】 0476-42-0033

★「かてきょう通信」は、印西市ホームページでもご覧いただけます。
印西市ホームページにて「かてきょう通信」と検索してください。

子育ては自分育て

